

## 貴病院のエネルギー使用量・CO<sub>2</sub>排出量原単位と 省エネ活動実施状況のフィードバック票

お名前	
-----	--

下記の資料は、平成20年度にご協力頂いた「私立病院における地球温暖化対策自主行動計画策定のための調査」（アンケート実態調査）にご回答頂いた資料を元に、貴病院の地球温暖化対策への対応動向を整理したものです。

今後の貴病院における地球温暖化対策の参考資料としてご利用下さい。

（ご注意）

- ①本データはあくまでも貴病院からご返送いただきましたデータを基に、加工・作成したものです。
- ②本票についてのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください
- ③エネルギー使用データのご記入がなかった場合には表面のみ記載されています

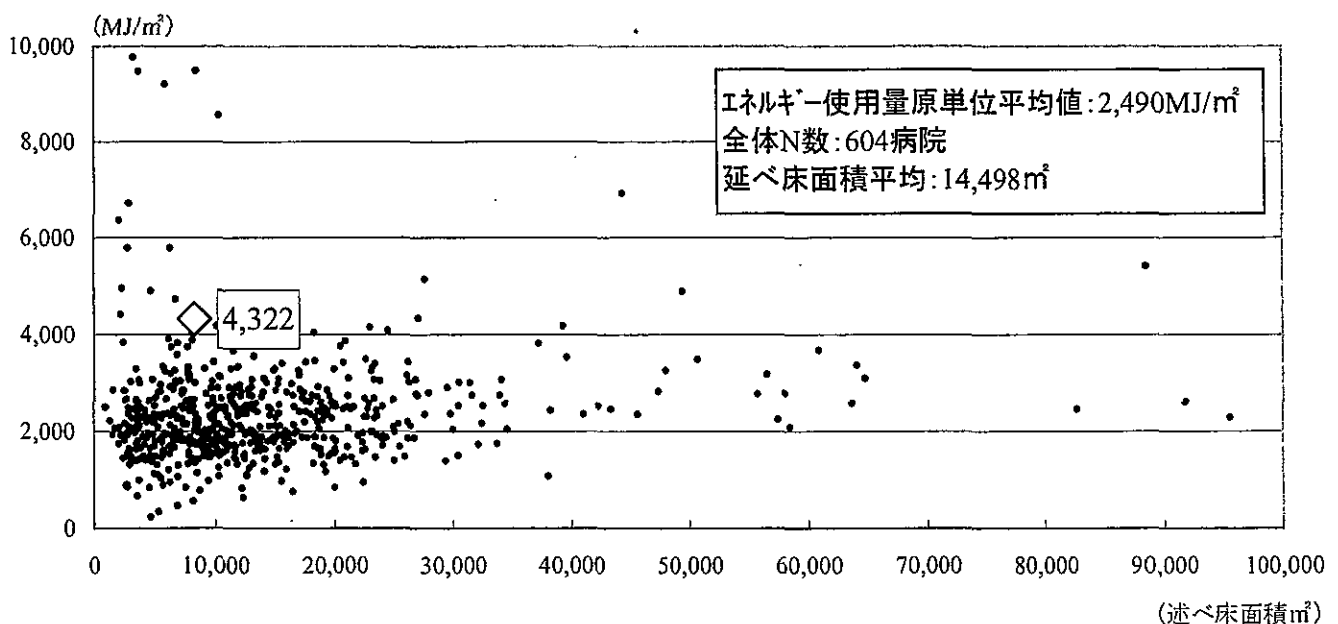
1 貴病院の過去1年間のエネルギー使用量及びCO<sub>2</sub>排出量原単位等は、下表のようになっています。

区分	単位	A 平成17年度	B 平成18年度	B-A 1年間の 増減量	A/B 1年間の 増減率 (%)
電気使用量	1000Lwh	753.0	703.0	703.0	-
重油・灯油等使用量	Kl	0.0	0.0	0.0	-
ガス使用量	Km <sup>3</sup>	755.8	710.6	710.6	-
エネルギー使用量原単位	KL/m <sup>2</sup>	4,603.5	4,321.7	4,321.7	-
CO <sub>2</sub> 排出量原単位	Kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	227.9	212.9	212.9	-

下グラフの数値

2 有効回答のあった病院全体(次の分布図)の中で、貴病院のエネルギー使用量原単位(KL/m<sup>2</sup>)は◆印の位置にあります(平成18年度)。


◆ 貴病院の位置



貴病院の省エネ活動の実施状況は、下表の通りです。

- 3 全体の病院の実施項目と、貴病院における実施項目を比較して、今後の省エネ活動への取組みの参考にしてください。

項目	貴病院における実施項目	全体実施比率 (%)
1 日中窓側の照明器具を消すこと	○	57.8
2 高効率照明器具を使うこと	○	41.6
3 使用時間にあわせ照明を点灯すること	○	85.0
4 省エネルギー型OA機器等の導入すること		27.7
5 エレベーターは閑散時に一部停止すること		27.9
6 省エネ自動販売機を導入すること		24.2
7 トイレ・手洗いに節水こまを使用する等、院内における節水の推進をすること	○	60.3
8 省エネを考慮した空調温湿度管理を行うこと	○	53.6
9 病棟・管理部門での外気取り入れ量を適正に調節すること(手術室等を除く)		58.3
10 空調運転は早めに止めるようにすること	○	59.3
11 夜間・中間期(春、秋)等は空調運転を止めること	○	79.0
12 窓ガラスに遮熱フィルムを施工すること		19.8
13 屋上緑化・周辺緑化を行うなど病院の緑化を推進すること		39.3
14 屋上の断熱防水を行うこと		19.8
15 外壁に断熱塗料を吹き付けること		5.9
16 出入口に風除け室を設置すること	○	72.9
17 定期的にフィルター清掃を行うこと	○	96.8
18 洗濯物の乾燥を室内湿度に合わせること		12.2
19 女子トイレに擬音装置を設置すること		26.7
20 温度調節機能付シャワーを使用すること	○	73.0
21 夜間は給湯を止めること		30.6
22 外来者に公共交通機関利用を呼びかけること		17.1
23 従事者にマイカー通勤自粛を薦めること	○	22.7
24 太陽光発電(ソーラー発電)を利用すること		4.2
25 コピー用紙等の使用量を削減すること	○	75.0
26 再生紙を使用すること	○	69.6
27 笑気ガス(麻酔剤)の適正な使用を極力図ること	○	52.0
28 施設管理者への省エネルギー対策の徹底すること		54.8
29 水の有効再利用をすること		21.9
30 職員に対し、地球温暖化対策に関する研修の機会の提供、情報提供を行う		15.0
31 職員に対し、地球温暖化対策に関する活動への積極的参加の奨励する		12.3

\*  は回答病院 (N=973)の7割以上が実施している項目

東京都医師会  
地区医師会担当理事並びに温室効果ガス削減リーダー説明会

## 次 第

日時：平成20年11月26日(水)

午後2時30分～

会場：東京都医師会館【4階講堂】

司会：東京都医師会理事 江本 秀斗

1 挨拶 東京都医師会長 鈴木 聡男

2 講演 『東京都の環境対策について』（資料1～3）

東京都環境局長 有留 武司 様

3 事業説明

(1) 『東京都医師会エコプロジェクトについて』（資料4～10）

東京都医師会理事 玉木 一弘

(2) 『CO<sub>2</sub> 排出量モニタリング Web アプリケーションについて』（資料11）

ポコロジ株式会社

4 質疑応答

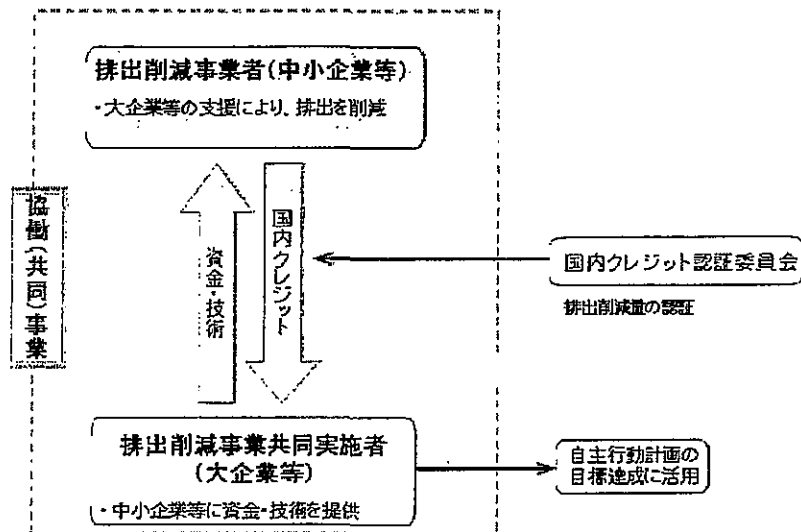
- 
- 資料1 東京都の環境対策
  - 資料2 緑の東京募金～あなたの募金で東京にもっと緑を～
  - 資料3 緑の東京募金 税制上の優遇措置のお知らせ
  - 資料4 東京都医師会温室効果ガス削減トライアル仕様書
  - 資料5 東京都医師会温室効果ガス削減活動概念図
  - 資料6 参加は簡単！「東京都医師会温室効果ガス削減トライアル」フロー図
  - 資料7 温室効果ガス削減の行動マニュアル
  - 資料8 温室効果ガス削減の基礎知識
  - 資料9 省エネ性能カタログ（家電製品編）
  - 資料10 省エネ性能カタログ（ガス・石油機器編）
  - 資料11 東京都医師会エコプロジェクトポコロジCO<sub>2</sub> モニター  
ポスター「東京都医師会エコプロジェクト」



## 「国内クレジット制度」の概要について

### I. 目的

国内クレジット制度は、京都議定書目標達成計画（平成20年3月28日閣議決定）において規定されている、大企業等の技術・資金等を提供して中小企業等が行った二酸化炭素の排出抑制のための取組による排出削減量を認証し、自主行動計画等の目標達成のために活用する制度。

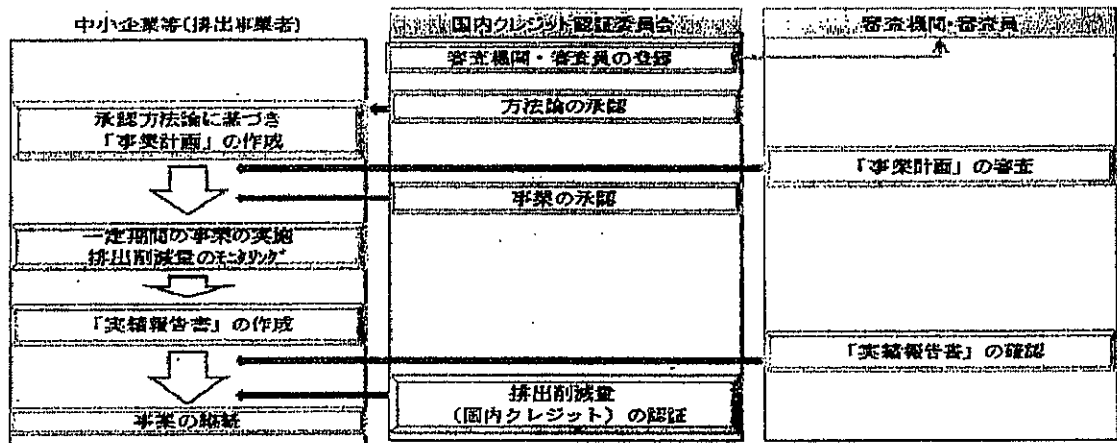


### II. 対象となる排出削減事業

- 中小企業等、自主行動計画参加企業以外の者による事業  
(注) 大企業等（自主行動計画参加企業）との共同事業として原則実施
- 中小企業に加え、農林業、各種サービス等の民生部門の幅広い主体を対象

### III. 手続

- 事業者は、技術毎のひな形（排出削減方法論）に基づき事業計画書を策定
- 事業者は、承認された事業計画に従って一定期間事業を実施し、モニタリングした排出削減量について報告書を作成
- 国内クレジット認証委員会が、京都メカニズムクレジットに適用される簡便な認証方法に倣った基準により認証を行うことで、一定の厳格性及び追加性を確保（審査機関・審査員により事業の審査、実績の確認を受ける。）
- 併せて、中小企業等の利便性確保のため手続を簡素化

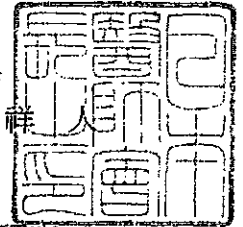


- ※1: 政府は国内クレジット制度を円滑に運営するため、国内クレジット認証委員会を置き、その事務局については、国内クレジット制度運営規則に基づき、経済産業省、環境省、農林水産省が共同で運営する。
- ※2: 国内クレジットの管理については、例えば中小企業等と大企業等が協働で事業計画を策定、申請し、その認可を受けるといった仕組みなど、可能な限り簡便なものとする。

日医発第 610 号(地Ⅱ103)  
平成 20 年 9 月 16 日

施設長 殿

社団法人日本医師会  
会長 唐 澤 祥 人



病院における地球温暖化対策自主行動計画フォローアップのための調査  
についてのお願い

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から本会会務遂行のため一方ならぬご尽力を賜りまして深く感謝申し上げます。

現在、国家的目標として地球温暖化防止のため二酸化炭素削減が掲げられております。本会では、昨年度 4 病院団体（日本病院会・全日本病院協会・日本精神科病院協会・日本医療法人協会）よりご参画いただき、プロジェクト委員会を設置し、報告書を取りまとめるとともに、このたび報告書をふまえた「病院における地球温暖化対策自主行動計画」（別添）を策定することができましたので、お送り申し上げます。改めまして、昨年度アンケート調査にご協力いただきました関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

このような状況の中、本会では今年度も引き続き「病院・介護保険施設における地球温暖化対策プロジェクト委員会」を設置し、病院における地球温暖化対策自主行動計画のフォローアップ調査に加え、介護保険施設における地球温暖化対策自主行動計画の策定を目的とした調査を実施させていただくこととなりました。

本調査では、病院全体の自主行動計画のフォローアップへの寄与のみならず、ご回答いただく各施設の省エネ対策・地球温暖化対策にも寄与することを目指しております。

つきましては、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、別添「病院における地球温暖化対策自主行動計画フォローアップのための調査についてのお願い」のとおり、貴施設におけるエネルギー使用量及び地球温暖化対策の実施状況等について、同封の返信用封筒をご使用の上、10月14日までに日医総研宛お送りいただきますようお願い申し上げます。

なお、本調査のエネルギー使用量の問い合わせに際しては、電気事業連合会及び㈱日本ガス協会より、出来る範囲内でのご協力を頂くこととなっております。

また、本調査にご協力いただきました施設に対しましては、後日、本調査結果等をご報告させていただく予定でございます。

平成 20 年度  
病院における地球温暖化対策自主行動計画フォローアップのための  
調査についてのお願い

施設長殿

この度は、調査にご協力頂き誠にありがとうございます。

本調査は、前年度にご提出頂いたデータに基づき策定を行った、「病院における地球温暖化対策自主行動計画」のフォローアップ調査、すなわち、その後の各病院におけるエネルギー使用量及び対策等の実施状況を把握させて頂くことを目的として実施するものです。

つきましては、貴病院におけるエネルギー使用量及び地球温暖化対策の実施状況について、同封致しました調査票に示した順序でご記入の上、10月14日(火)までにご返送くださいますようお願いいたします。

ご提出頂いた内容につきましては、堅く秘密を守り、統計処理する以外には一切使用いたしません。

ご多忙とは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、格段のご協力を賜りますようお願いいたします。なお、ご不明な点等がございましたら、日医総研担当まで照会頂きますようお願いいたします。

以上

「送付資料」

調査票

(調査票1)	病院概要票(平成20年9月1日時点)	…1ページ
(調査票2)	エネルギー使用量調査票	…2ページ
(調査票3)	エネルギー消費等地球温暖化対策に関する調査票	…6ページ



## ■調査対象・項目・方法

- (1) 対象施設  
50床以上の病院 3,276施設
- (2) 回答者  
施設管理担当者(事務長等)
- (3) 調査項目  
医療機関プロフィール、平成19年(2007年)4月～平成20年(2008年)3月におけるエネルギー使用量、地球温暖化対策の実施状況等
- (4) 調査方法  
日本医師会から調査対象施設に直接、調査票・依頼書を発送。  
医療機関が必要事項を記入後、返信用封筒を用いて、日本医師会に返送。

## ■調査スケジュール

- 平成20年9月中旬 : 調査票発送(協力依頼)
- 平成20年10月14日 : 調査票回収締め切り
- 平成21年3月末日 : 集計・分析結果とりまとめ

### 「問い合わせ先」

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日医総研(担当:小久保)

電子メール:[ondan@jmari.med.or.jp](mailto:ondan@jmari.med.or.jp)

※ご照会は原則、電子メールでお願いいたします。折り返しメールまたは電話でご回答させていただきます。

本調査専用電話:03-3942-7192(受付時間:平日10:00～16:00)

提出期日:平成20年10月14日
------------------

## エネルギー使用量調査票（調査票2）

貴施設の延床面積に対応する平成19年度（2007年度）の使用量の値を、お使いの各エネルギー毎に単位を確認の上、小数点未満を四捨五入してご記入ください。

### (1) 電力使用量

**【ご記入の際の注意点・お願い】**

- ① 電力使用量(昼間・夜間の合計)について、平成19年度(平成19年4月～平成20年3月)の1年間の請求書データを合計して頂き、下表に記入してください。
- ② 電力使用量のデータは「お客様番号」ごとに記入して頂き、「お客様番号」(請求書)が複数ある場合には、番号ごとに記入をお願いします。  
※施設建物と別契約で、公衆街路灯、駐車場、看護師寮等がある場合は、調査対象外となります。検針時に配付する「電気使用量のお知らせ」が複数枚ある場合はご留意下さい。
- ③ 電力使用量データのご記入に際して、伝票等不備がある場合、次ページの電力会社と契約をしている施設については、担当窓口の本調査に記入する旨を連絡すると、契約者(本人)の確認の後、1～2週間のうちに、当該1年間の使用量の連絡が来るようになっていきます(次ページ注意点をご確認の上、お問い合わせください)
- ④ 電力使用量は、購入電力量のみをご記入ください。
- ⑤ 継続的フォローアップのため、今後引き続きご協力をお願い致したく、請求書データの保管をよろしくお願い致します。

**【お客様番号(請求書)が1つの場合】**

\*3桁毎にカンマをいれてください

平成19年度の電力使用量
千Kwh

**【お客様番号(請求書)が複数の場合】**

\*お客様番号ごとに記載してください。また、3桁毎にカンマを入れてください。

お客様番号	平成19年度の電力使用量
	千Kwh
	千Kwh
	千Kwh
	千Kwh
	千Kwh

お手元の請求書データで1年間の電力使用量をご記入する場合、または次ページ電力会社以外と契約されている場合は、月別の請求書を合計して、1年間の電力使用量をご記入下さい。

＜「電力使用量のデータ提供に関する申込」連絡先＞

＜電力会社にお問い合わせの際の留意点＞

- ・電力会社よりの回答が、1～2週間かかることもあります。
- ・お問合せの際は、契約者(本人)の確認等が必要になりますので、検針時に配付される「電気使用量のお知らせ」をご用意ください。数点質問される場合もあります。
- ・電話の取次ぎが必要な場合等のため、「日本医師会からの電気使用量に関するアンケート」に記入する旨をお伝えください。
- ・回答は電話対応のみとなっています(書面での回答は不可です)。
- ・受付時間は各社で異なりますが、平日9:00～17:00は各社対応可能です(夜間・休日は対応不可)。

契約電力会社	担当窓口	連絡先 (一部は受け持ちエリア別)	
北海道電力㈱	各支店・営業所	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号にお問合せください。 (その際、法人担当窓口にて用件がある旨、お伝えください。)	
東北電力㈱	東北電力コールセンター	0120-175-466	
東京電力㈱	各カスタマーセンター	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号(カスタマーセンター)	
中部電力㈱	法人カスタマーセンター	0120-210-035 : 受付時間 8:30～17:00(土曜・日曜・祝日除)	
北陸電力㈱	富山支店営業部営業担当	076-433-2398	富山県内
	石川支店営業部営業担当	076-233-8881	石川県内
	福井支店営業部営業担当	0776-29-6980	福井県内(美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町は除く)
関西電力㈱	大阪北支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	06-6377-7354	大阪府 能勢町、豊能町、池田市、箕面市、茨木市、高槻市、島本町、豊中市、吹田市、枚方市、摂津市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、四條畷市、大東市、大阪市(淀川区、東淀川区、旭区、都島区、北区、西淀川区、此花区、福島区、西区、港区、大正区、中央区、城東区、鶴見区、東成区、天王寺区、生野区)
	大阪南支店 お客さま室 営業計画グループ	06-6672-3253	大阪府 大阪市(中央区、浪速区、天王寺区、生野区、西成区、阿倍野区、住之江区、住吉区、東住吉区、平野区)、東大阪市、八尾市、松原市、藤井寺市、柏原市、羽曳野市、大阪狭山市、富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村、河内長野市、堺市、高石市、泉大津市、忠岡町、和泉市、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町
	京都支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	075-344-7552	京都府 京都府内
	神戸支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	078-220-0049	福井県 高浜町、おおい町、小浜市、若狭町、美浜町
	姫路支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	079-227-0639	兵庫県 三木市、小野市、加古川市、稲美町、播磨町、高砂市、加西市、加東市、西脇市、多可町、姫路市、太子町、福崎町、市川町、神河町、朝来市、養父市、豊岡市、香美町、新温泉町、宍粟市、たつの市、相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、神戸市北区淡河町
	奈良支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	0742-27-2941	奈良県 奈良県内
	滋賀支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	077-527-5843	滋賀県 滋賀県内
	和歌山支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	073-463-0626	和歌山県 和歌山県内
			三重県 紀宝町、御浜町、熊野市
	中国電力㈱	各営業所※ 営業所への電話は カスタマーセンター受付	担当の営業所および電話番号(フリーダイヤル)については、「検針のお知らせ」またはホームページでご確認ください。
四国電力㈱	各支店・営業所	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号にお問合せください。	
九州電力㈱	各営業所 ※ 営業所への電話は コールセンターで受付	担当の営業所および電話番号(フリーダイヤル)については、「検針のお知らせ」またはホームページでご確認ください。	
沖縄電力㈱	お客さま本部ソリューション営業部 法人エネルギーグループ	098-877-2341	担当:金城(内線3633)

※上記問い合わせ先は、本調査における期間限定となっております。

## (2) 都市ガス使用量

### 【ご記入の際の注意点・お願い】

- ① 都市ガス使用量について、平成19年度(平成19年4月～平成20年3月)の1年間の請求書データを合計して頂き、下表に記入してください。
- ② 都市ガス使用量のデータは「お客様番号」ごとに記入して頂き、「お客様番号」(請求書)が複数ある場合には、番号ごとに記入をお願いします。
- ③ 都市ガス使用量データのご記入に際して、ご不明な点がある場合、検針票等により「契約都市ガス会社」「お客様番号」をご確認の上、下表の都市ガス会社と契約をしている施設については、担当窓口にお問い合わせ下さい。契約者(本人)の確認の上、回答可能な範囲において対応いただけます。なお、一部契約都市ガス会社によっては、回答に1～2週間必要とする場合や、直近12ヶ月以前のガス使用量についてお答えできない場合があります。
- ④ 継続的フォローアップのため、今後引き続きご協力をお願い致したく、請求書データの保管をよろしくお願ひ致します。

### 【お客様番号(請求書)が1つの場合】

\*3桁毎にカンマをいれてください

平成19年度(平成19年4月～平成20年3月)の都市ガス使用量
m <sup>3</sup>

### 【お客様番号(請求書)が複数の場合】

\*お客様番号ごとに記載してください。また、3桁毎にカンマを入れてください。

お客様番号	平成19年度の都市ガス使用量
	m <sup>3</sup>
	m <sup>3</sup>
	m <sup>3</sup>

### 「都市ガス使用量に関する問い合わせ先」

契約都市ガス会社	担当窓口	担当者	連絡先
北海道ガス(株)	エネルギー営業部 都市エネルギーグループ	奥山	011-207-2080 (平日*9:00～17:30)
仙台市ガス局	営業部 都市エネルギー開発課 開発推進係	後藤・野村	022-292-7709 (平日*8:30～17:00)
京葉ガス(株)	エネルギー開発部 都市エネルギー営業センター エネルギー営業グループ	金杉	047-325-4011 (平日*9:00～17:00)
北陸ガス(株)	お客様担当支社	料金担当	新潟支社：025-229-7000 長岡支社：0258-39-9000 (平日*8:30～17:10)
東京ガス(株)	お客様センター	—	0570-002211 (月～土曜 祝日除く 9:00～17:30)
静岡ガス(株)	お客様担当支社	—	検針票に記載の問い合わせ先電話番号
東邦ガス(株)	都市エネルギー営業部 営業第二グループ	斉藤	052-872-9213 (平日*9:00～17:45)
大阪ガス(株)	お客様センター	—	0120-011480 (平日*9:00～17:30)
広島ガス(株)	業務用エネルギー営業部	西本	082-252-3025 (平日*9:00～17:00)
西部ガス(株)	都市エネルギー営業部 市場企画グループ	—	092-633-2363 (平日*9:00～17:45)

※祝日を除く、月曜日～金曜日

### (3) 液化石油ガス(LPG)・油(重油・灯油)・上水道の使用量

- ・液化石油ガス・油・上水道の使用量は各月または複数月の請求書に記載された数値を転記してください。
- ・お分かりになる場合は、各年度計の数値のみをご記入ください。この場合、各月の記載は必要ありません。

		液化石油ガス(LPG)	油		上水道
			重油	灯油	
平成 19 年	4月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	5月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	6月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	7月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	8月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	9月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	10月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	11月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	12月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
平成 20 年	1月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	2月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
	3月	m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>
平成19年度 計		m <sup>3</sup>	KL	KL	m <sup>3</sup>

- ・3桁毎にカンマを入れてください。
- ・使用量は、施設の延べ床面積に対応して使用された数量をご記入ください。
- ・使用量は、各契約供給会社の請求書にてご確認ください。
- ・請求書が複数にわたる時は、すべての請求書に記載されている使用量を合計してご記入ください。  
欄が足りない場合は本票をコピーの上、ご記入ください。



### (調査票 3) エネルギー消費等地球温暖化対策に関する調査票

以下の設問について、該当する番号に○印をつけるとともに、記入欄がある場合には、数値等をご記入ください。

#### Q1. エネルギー消費量削減(省エネルギー)の推進について

Q1-1 貴施設でのエネルギー消費量を削減することへの取り組み状況を自ら評価した場合、次のどれに該当しますか？(1つに○印)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 積極的に取り組んでいると思う | 2 ある程度取り組んでいると思う |
| 3 あまり取り組んでいないと思う | 4 全く取り組んでいないと思う  |
| 5 わからない          |                  |

Q1-2 平成 19 年度に省エネルギー活動を部署、委員会等の組織を設置して取り組みましたか？(1つに○)

- |                           |   |                    |
|---------------------------|---|--------------------|
| 1 平成 18 年度以前に設置して取り組んでいる  | } | 1~4 を選択した方は Q2 へ   |
| 2 平成 19 年度に組織を設置して取り組んでいる |   |                    |
| 3 組織を設置しないが取り組んでいる        |   |                    |
| 4 今後、組織を設置し取り組む予定である      |   |                    |
| 5 今後とも組織を設置し取り組む予定はない     | } | 5~6 を選択した方は Q1-3 へ |
| 6 取り組んでいない                |   |                    |

Q1-3 取り組んでいない場合、取り組んでいない具体的な理由は何ですか？該当するもの全てに○印をつけてください。

1. 省エネルギー活動を推進するために、現状のエネルギー使用量を把握・評価することが困難である
2. 省エネルギー活動の意義が明確に理解できない
3. 省エネルギー活動は複雑で、取り組み方がわからない
4. 行政が示す省エネルギー活動に関する情報が複雑で、なかなか理解できない
5. 省エネルギー活動のための費用を捻出することが病院経営上困難である
6. 病院内で省エネルギー活動に対する理解が得られない
7. 省エネルギー活動を推進する専門的な人材がいない
8. 病院機能と省エネルギー活動が矛盾することがある
9. 病院内で省エネルギー活動に対する関心が少ない
10. その他(具体的にお書き下さい。)